

4年連続プレーオフ進出へ好スタート！ アメフトリーグ戦 グリーンマシーン 攻守ハツラツ



▲炎天下での気迫みなぎる練習(撮影・奥原)

関東大学アメリカンフットボール1部リーグ戦が9月6日から開幕、熱戦が繰り広げられている。Bブロックの専大は9月7日、大井第2球技場で行われた立教大との初戦に28-7で勝利、4年連続プレーオフに向け好スタート。

まだ夏の暑さが残る北グラウンド。そこは、グリーンマシーンの選手達の活気で溢れていた。

昨年の秋は、関東大学選手権決勝で早大に敗れたものの、関東2位。しかし、大学ナンバーワンを決める甲子園ボウルを目指す彼らにとっては、満足の行く結果でなかったかもしれない。だからこそ、今年にかける思いは並々ではない。

「夏の練習でQBが成長してきたし、攻守のバランスも良くなってきている」と平野恭雄監督が語ったとおり、山崎秀紀主将(経済4・足立学園高)を中心にチームの仕上がりは上々だ。夏合宿では、春のオープン戦での課題を克服し、リーグ戦の初戦に照準を合わせて練習を行ってきた。今後の試合では十分にその成果を発揮してほしい。

選手の意気込みは？と尋ねると「昨年の成績を上回ることが前提。謙虚な気持ちで一つひとつ勝ち上がっていきたい」と、平野監督は表情を引き締めた。

今年こそ甲子園に。それを実現させるためには厳しいリーグ戦を勝ち抜かなければならない。しかし、今年のグリーンマシーンに死角はない。勝利に向かって突き進む彼らを応援に行こう!! (稲田 礼子・法2)

◆Bブロック日程

- 9月21日(日)対筑波大(16:30～＝大井第2球技場)
- 10月4日(土)対中央大(18:00～＝大井第2)
- 10月25日(土)対東海大(13:30～＝夢の島競技場)
- 11月1日(土)対日本大(16:30～＝大井第2)
- 11月8日(土)対明治大(16:00～＝等々力硬式野球場)

【ニュース専修9月号12面】

なにがなんでも一部復帰を ラグビー・リーグ戦



▲伊勢原グラウンドで熱のこもった練習

関東大学ラグビーリーグ戦(2部)

が9月28日に開幕する。専大は同日の国際武道大戦が初戦となる。昨季2部降格となった専大にとって目標は「1部復帰」しかない。

夏合宿は専大北海道短大、北海道留辺蕊町、長野県菅平の3カ所で行われた。北海道では走りこみなどの体力作りやディフェンス、アタックといったチーム力の強化を目指し、長野では他大学との練習試合を中

心に行くことで弱点を見直し、チームの完成度を高めた。

4月からは強化委員会を設け、名スクラムハーフとして名高い小西義光ヘッドコーチ(昭55年経済=日本代表キャップ23)、オーストリア協会レベル2の資格を持ち、U21、U19日本代表のテクニカルコーチとして活躍中の松村径コーチが就任。「1部復帰という明確な目標を見据えて、個人がしっかりプレー出来るチームを目指したい」と話す松村コーチに「一人ひとりに明確なアドバイスをしてくれる」と選手たちも全幅の信頼を寄せる。中川祐司主将(経済4・秋田工高)は「力がついてきているのを実感している。実践を重ねて開幕までに万全の状態にし、必ず1部復帰を果たす」と力強く語る。

地獄を見た専大ラグビー一部が雪辱を果たすときはもう、すぐそこまで来ている。(川本麻美・文2)

【ニュース専修9月号12面】

福田が銅メダル獲得 男子個人フルーレ日本人初の快挙!! バスケット(男・女)テニス
なども健闘 ユニバーシアード競技大会



▲全身で喜びを表す福田(右)

ユニバーシアード競技大会(8月21～31日、韓国・大邱)に専大から6選手が出場し、フェンシング男子個人フルーレで福田佑輔(経済4・東亜学園高)が銅メダルを獲得するなど、活躍した。

福田は予選の4組を1位で通過し、決勝トーナメントへ。準々決勝は10-14の劣勢から5連続ポイントで逆転勝ち。準決勝で惜しくも敗れたものの見事3位。「男子個人では日本人初のメダル獲得でうれしい。結果が残せて良かった」と話した。

また、テニスでは道慶知子(経済4・四天王寺高)がダブルスで5位、シングルスでもベスト16進出と健闘。

佐藤浩貴(経営4・相洋高)、波多野和也(経営3・静岡学園高)、大宮宏正(経済2・作新学園高)が出場したバスケットボール男子は15位。長南真由美(経営3・山形市立商高)が出場した女子は12位に終わった。

【ニュース専修9月号12面】

開幕戦 勝ち点奪えず 東都大学野球リーグ戦(2部)

先発にエース深澤季生(経営2・藤嶺学園藤沢高)をたてて開幕白星を目指すも、4回途中3失点で降板。打線も沈黙して敗れた。2戦目も先発が崩れて拓大にリードを許す。森拓男(商3・東福岡高)の満塁本塁打で1点差に詰め寄るが一步及ばず苦汁をなめた。(岩谷 純一・文2)

■8日

| | | |
|----|-------------|---|
| 専大 | 000 000 010 | 1 |
| 拓大 | 001 400 01× | 6 |

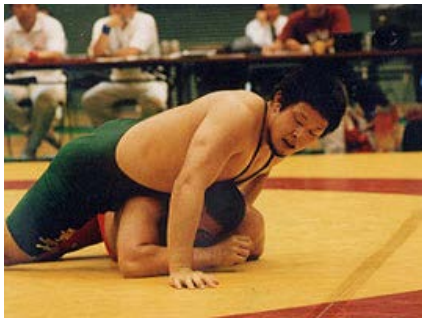
【専】深澤、西脇、品川ー柿沢
 【拓】尾崎ー樋口

| | | | |
|----|-------------|---|-----|
| 拓大 | 400 011 000 | 6 | ■9日 |
| 専大 | 000 041 000 | 5 | |

【拓】柏原、相良ー樋口
 【専】近藤、西脇、阿倍ー柿沢

【ニュース専修9月号12面】

田中が全日本学生連覇 レスリング・フリー 120kg級



レスリングの全日本学生選手権が8月26日から29日まで、駒沢体育館で行われ、男子フリースタイル120kg級で田中章仁(経済3・三井高)が優勝、全国大会連覇の偉業を成し遂げた。

ヒザのケガの影響で納得がいく練習が出来なかったと言う田中だが、まったくポイントを与えず圧倒的な強さで勝ち進み、決勝でも強豪・拓大の沢田に快勝。2年連続で表彰

台の頂点に立った。

「目標としていた連覇を達成出来てうれしい。決勝の相手は強かったが、うまく自分のペースを作っていたことが勝ちにつながった」と大会を振り返る。「今以上に技を磨き、世界のレベルで勝てるようになりたい」と語ってくれた。(高橋 伸明・文2)

【ニュース専修9月号12面】